



撮影 筋ジストロフィー病棟写真クラブ

「令和」元年にあたり

令和元年5月
病院長 石毛尚起



令和元年になりました。明治30年にその前身が発足した当院は、昭和20年12月に国立療養所下志津病院となり、平成16年4月に現在の国立病院機構下志津病院になりました。皆様方には、昭和、平成時代と変わらぬご支援、

ご協力をよろしくお願いいたします。

当院で半世紀以上の診療実績がある筋ジストロフィー医療、重症心身障害医療は、いまま最先端の医療、療養が提供できるように多職種で研鑽しております。

一般診療では今年1月より、従来からのリウマチ膠原病センター（杉山隆夫センター長）に加え、リウマチ関節外科センター（山中一センター長）、小児アレルギー膠原病センター（冨板美奈子センター長）、療育発達支援センター（石原あゆみセンター長）、神経・筋疾患センター（三方崇嗣センター長）と4つの新センターを開設致しました。多くの患者さんに高度な医療を提供できますように努めてまいります。

特徴ある医療に加え、外科・整形外科・消化器内科・神経内科・小児科・脳神経外科での一般診療、小児2次救急も引き続いて力を注いでおります。四街道市の乳がんマンモグラフィ検診を昨年より再開し、骨粗しょう症検診も新規機器を導入して行っております。

昨今、地域の中で病院や施設の役割を分担・連携して高齢化による医療介護のニーズの増加に対応しようと地域包括ケアシステムの構築が進められています。下志津病院で4年前に開設いたしました地域包括ケア病棟も、急性期の病院、病棟などで密度の高い治療を受けられた患者さんが自宅または地域に戻るための継続診療、あるいは在宅や施設におられる方の短期医療を担う病棟として、徐々にその役割を拡大してきております。

また昨年4月より、四街道市在住・在勤者のお子様（生後6か月から小学生）を対象とした病児・病後児保育も開始し、のべ400回ほどのご利用をいただいております。ご利用にはあらかじめ登録しておくことが必要ですので、当院管理課にお問い合わせください。

令和時代になりましても信頼される病院であるよう努力いたす所存でございます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

「看護の日記念イベント」

事務部管理課

恒例の「看護の日記念イベント」を去る5月18日（土）にイトーヨーカ堂四街道店のご厚意により、同店1階のイベント会場で実施しました。

この「看護の日記念イベント」は、フローレンス・ナイチンゲールの誕生日にちなみ5月12日の「看護の日」に併せて、地域住民の皆様へ看護の魅力を伝えることで、看護への関心を高めていただくことを目的に平成21年度より開催しています。

今年度も「もっと自分自身を知りましょう！」をテーマに、健康相談や栄養・お薬の相談コーナーをはじめ、骨密度測定・体脂肪測定・血管年齢測定・握力測定のコーナー、そしてクイズコーナーを設けて実施しました。日頃の健康意識の高さから、例年と同様、多くの皆様にご参加いただきました。

「看護の日記念イベント」の実施には、医局を始め、看護部、薬剤部、臨床検査科、放射線科、栄養管理室、リハビリテーション科、療育指導室、事務部の各職場から職員がそれぞれのコーナーで活躍しました。

なお、秋にも「下志津病院秋まつり」を実施する予定です。参加は無料ですので、多くの皆様のご参加を職員一同お待ちしております。



こんにちは！下志津病院放射線科です！

【技術をもって、診断に最適な画像を提供します】

我々、下志津病院放射線科は、診療放射線技師7名（うち、女性技師3名）と受付職員1名の構成で、単純エックス線検査、CT検査、MRI検査などの画像診断を中心とした業務をおこなっております。CTを使用した肺がん検診やMRIを使用した脳ドック、また昨年導入したX線TV装置を使用し、嚥下機能の観察や脊椎のトモシンセシス検査などの多機能な用途にも対応しております。

また、昨年同様今年度も四街道市骨粗しょう症検診および乳がんマンモグラフィ個別検診業務をおこなっております。今回その中から、特にチカラを入れている骨粗しょう症検診と乳がんマンモグラフィ個別検診について紹介します。

※骨粗しょう症検診

骨粗しょう症とは骨がスカスカになってしまい、わずかな衝撃によって骨折が起きやすい状態になる疾患です。それ自体は無症状ですが、もし骨折が起きてしまうと寝たきりの生活になってしまうケースや様々な障害が起こる可能性があります。早期に発見し治療・予防を開始することがとても大切です。当院では骨粗鬆症学会が推奨している骨密度の測定装置を使用しています。検査自体は寝ているだけの検査で所要時間は1～2分程度です。



※マンモグラフィ個別検診

近年、乳がんは日本人女性に最も多いがんであり、乳がんの特徴は、40～60歳代の女性に特に多く発症されますが、若年世代にも増えて来ております。乳がんは早期発見がとても重要で、早期で発見すれば90%以上が治癒するがんであると言われております。当院は（NPO法人 日本乳がん検診精度管理中央機構）の認定施設です。検査担当者も、（検診マンモグラフィ撮影技術認定）取得者がおこなっております。



エックス線TV装置



放射線科スタッフ

～採血時の疑問や気になること～

臨床検査科

病院に行くと検査のために採血をすることがありますが、採血に関することで疑問に思うことや気になることはありませんか。

今回はよく聞くことについてお答えいたします。

Q. アルコール消毒で赤くなったり、かぶれたりするのですが？

A. 消毒前におっしゃっていただければ、アルコールではない消毒液で消毒します。



Q. 採血した血液が黒いように見えるのですが？

A. 通常、採血する血液は静脈血になります。血液には動脈血と静脈血がありますが、肺から酸素をもらい身体の各組織に運ぶ血液が動脈血になり赤っぽい色をしています。一方、静脈血は身体の各組織に酸素を運び終わった血液になり酸素を届けた後の血液は黒っぽく見えます。

Q. 採血の後は押さえる必要があるの？

A. 採血後は直ぐに血液が止まりませんので、5分程圧迫し止血してください。また血液が止まっても重い荷物を持った場合に血液が出てくる場合がありますのでご注意ください。

Q. 色々な採血管があるけど何が違うの？

A. 検査の目的により採血管は異なり、その採血管には検査に応じた血液を固まらせない薬が入っている場合があります。そのため検査する項目により採血本数が異なります。

Q. 検査結果の略語がわかりにくいのですが？

A. 検査項目には、「ALB」「CRP」などの略語で記載している場合が多くあります。そのため、検査項目の名称と解説を冊子にわかりやすくまとめた「なるほど・ザ・検査ミニ知識」を採血室受付に置いてありますので、ご自由にお持ちください。



～例えば～

ALB (アルブミン)：肝臓で作られ全身の栄養状態の指標となる蛋白質で、肝臓の病気や腎臓の機能の低下で低くなります。

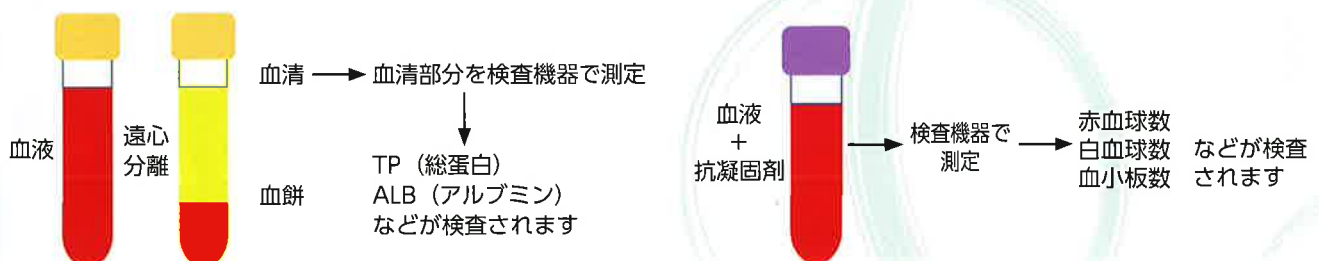
Q. 採血をしている人はどんな職種の方ですか？

A. 外来採血は、看護師と臨床検査技師が行なっています。看護師さんは皆さんよくご存知だと思いますが、臨床検査技師とはどのような職種だと思いますか。臨床検査技師とは、採血や採尿した検体を検査する検体検査、心電図や肺機能検査などの生理機能検査を行うことを仕事としています。

Q. 採血した検体はどうやって検査しているのですか？

A. 採血した検体は、検査項目に応じて遠心分離を行ない、血清部分を検査機器で測定します。また血液をそのまま検査機器で測定しています。

～例えば～



職場紹介

療育指導室長 吉田 誠

【療育指導室】

『療育指導室』は長期療養生活を送る重度の障害児者や慢性疾患のために入院している児童を対象に、様々な活動（日中活動）と生活支援を提供する福祉部門です。元気いっぱいの「児童指導員」8名「保育士」21名が働いています。

日中活動は患児者の状態（年齢、性別、興味・関心、発達段階等）に合わせ、成長、発達、日々の変化に視点を置き活動を提供しています。また、療養生活における「特別な時間や体験の機会」として様々な「行事」を企画しています。

日中活動や行事は単に心地よさや楽しいことを求めるのではなく、それぞれに「目的やねらい」があります。例えば音や光、臭いなどを伴う活動を通して多くの感覚刺激を体験する。大型遊具で身体を動かすことや揺れなどにより運動を体験する。外出を通して病院では体験できない新たな体験をする等です。

更に療育指導室では地域で暮らす（在宅）の方に対しても「短期入所事業、通園事業（児童発達支援、放課後等デイサービス、生活介護）、相談支援」など多岐に渡った支援にも携わっています。



ショッピング



スノーズレン（感覚刺激）



ゲーム（太鼓）

職場紹介

7病棟看護師長 中村智子

7病棟は、筋ジストロフィー疾患の患者さんが入院している病棟です。筋ジストロフィー症とは骨格筋の壊死・再生を主病変とする遺伝性疾患の総称です。運動機能障害・呼吸機能障害・嚥下機能障害などの症状が出現し日常生活に大きな影響を与え、徐々に全身状態が悪化する病気です。7病棟では患者さん個々に応じた治療をしながら、特別支援学校への通学や、筋力維持のリハビリ、時には医療スタッフと一緒にイトーヨーカドーなどへの外出支援も行っています。患者さんの8割以上が人工呼吸器を装着しながら生活していますが、車椅子に乗車し、卓球やカードゲーム・カラオケなどのサークル活動も積極的に行っています。写真はベッド上で患者さんがカラオケを楽しめるように看護師がお手伝いをしているところです。

私たち看護師は毎日、笑顔で患者さんが楽しい時間を過ごせるよう、患者さんの心に寄り添う看護を実践しています。日常生活では指先のみなど少しの部分しか動かすことのできない方が多く、食事摂取や清潔動作など全ての行動に患者さん個々に合わせた援助が必要となります。そのため患者さんの希望に沿うことができるように看護師は患者さんの話を聴くことを大切にしています。また、患者さん個々の身体機能を見極め、今できる能力を最大限生かせるようカンファレンスを行い、患者さんに合わせた支援の方法を考え実践しています。その他、患者さんの安全を守るために、呼吸状態を離れた場所からも確認できる器械や患者さんをベッドから車いすに移乗する器械など、いろいろな器械を使用しています。

4月には3人の新人看護師を迎えました。まだ、「患者さんが何を話しているのか聞き取ることが大変だ」と話しています。病棟の先輩達は患者さんの求めていることがすぐにわかることができ、早く自分もそうなりたいと話していました。患者さん一人ひとりと笑顔で接しながら、日々看護師として成長しています。

病棟脇に有名なカエルさんがいます。彼は40年以上前の病院の写真にも写っており、季節に合わせた衣替えをしながら、ずっと筋ジストロフィー病棟の患者さんと職員を見守ってくれています。



患者さんのカラオケと一緒に楽しんでいます



新人とカエルさん



患者様の呼吸状態をみる器械です

巨木を訪ねて



米国カリフォルニア州の高地の砂漠地帯には 4000 年以上という世界最高樹齢の樹木ブリストルコーンパイン（和名イガゴヨウマツ）の森がある。

枯れているように見えるが、生きているという。その奥には一部に葉が見える樹もみえる。枯れた部分と生きた部分が混在しながら長く生きるとされている。樹齢測定には直接に樹にドリルでサンプルを採取し、顕微鏡で年輪測定をする。森にはビジッターセンターがあり、そこにサンプルと顕微鏡が展示してある（写真）。また、ブリストルコーンパインの種が購入できた。カリフォルニア州には世界最長（樹高 120 m）の樹木レッドウッドと最重量のジャイアントセコイアがあり、これらも訪ねたが、これらの種も同時に購入できた。ついでながら、周囲が世界最大の樹木は沼杉でメキシコにあるがまだ訪ねていない。



尋ね人 末石 真

受付時間

8:30 ~ 11:00

外来診療担当表

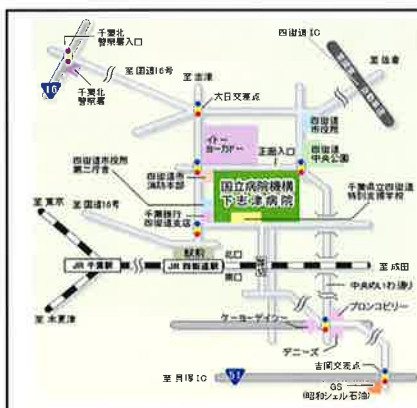
独立行政法人 国立病院機構 下志津病院

令和元年6月1日～

区分	月	火	水	木	金
内科 一般内科 消化器内科 泌尿器内科 呼吸器内科 アレルギー科(成人) (喘息) 睡眠時無呼吸外来※ 禁煙外来 脳神経外科 神経内科 小児神経科※ 小児科※ 外科 整形外科 リハビリテーション科	杉本 古川 富澤 大野(PM)	山崎 篠川 古末 横山(AM) 山形(PM)	吉田(隔週) 古川 富澤 末石 波木	杉山 杉本 眞山(快)	杉山 杉本 乗本(綾)(AM)
アレルギー科(成人) (喘息)					岩本(AM)
睡眠時無呼吸外来※			梅岡(PM)(第2・4のみ)		
禁煙外来			鈴木(修)(PM)		
脳神経外科	石毛	石毛	深谷	深谷	石毛・深谷(交代制)
神経内科		本吉 三方	本吉		本吉 三方
小児神経科※	大森		石原	大村	
小児科※	一般 喘息・アレルギー 腎臓・肥満・代謝 眞山(義) 渡辺 中村 鈴木(修)(AM) 交代制 (女子医大)	一般 喘息・アレルギー 富板 奥井 仲村 佐藤(一) 須藤 鈴木(由)(PM)	一般 喘息・アレルギー 代謝 山本(重) 鈴木(修)(AM) 鈴木(由)(AM) 関谷 玉地	一般 喘息・アレルギー 腎臓・肥満 富坂 渡辺 中村 佐藤(一) 交代制 (女子医大)	一般 喘息・アレルギー 腎臓・肥満 奥井 石原 中村 鈴木(修) 須藤
				小児膠原病 富板(PM) (初診予約のみ)	
外科	小笠原	一木	白井	長谷川(留) (予約患者のみ) 白井	白井 (予約患者のみ) 長谷川(留)
整形外科	山中 玉井 佐藤(崇)	鈴木(宗) 玉井 江口	菅野 小林 交代制 (9:30から診察開始)	小林 渡慶次 山中	鈴木(宗) 渡慶次 江口
リハビリテーション科	三方(指定する日)				

- ※ 小児神経科の初診の方
 - ※ 小児科・アレルギー科(小児)の食物アレルギーと喘息評価宛の紹介状をお持ちの方
 - ※ 小児膠原病(初診予約のみ)は毎週木曜日14:00~15:30に行います。
 - ※ 睡眠時無呼吸外来は、1日5名までの完全予約制です。
 - ※ 精神科・皮膚科・循環器内科・歯科・耳鼻科・眼科は、主として入院患者を診察しています。
- 完全予約制ですので地域医療連携室へお問合せ下さい。

四街道市 乳児健診	健診は第4木曜日14:00から行います。健診当日は13:15~13:45までに受付をお済ませください。 予約のお問合せは企画課(医事)窓口と電話にて受付しています。予約受付は、平日13:30~16:00までです。
睡眠時無呼吸 外来	毎週第2・4水曜日、14:30~17:00に行います。受診日の16:00までに受付をお済ませください。 初診・再診とも完全予約制です。地域医療連携室にご連絡ください。
禁煙外来	毎週水曜日、15:00~16:00に行います。 初診・再診とも完全予約制です。地域医療連携室にご連絡ください。



- JR 四街道駅
北口下車 徒歩8分
JR 総武本線東京駅(千葉経由)から四街道駅まで約50分
- 京成白井駅
京成電鉄京成白井駅から千葉グリーンバス
「四街道駅行き」に乗車(約25分)「消防署前」下車、
徒歩1分
- 東関東自動車道
「四街道インター」から約5分(3Km)



独立行政法人 国立病院機構 **下志津病院**
〒284-0003 千葉県四街道市鹿渡934-5
電話: 043-422-2511 FAX: 043-421-3007
ホームページ <https://www.nsh.gr.jp/>



第19号
令和元年6月発行

発行責任者 石毛 尚起
編集委員長 山本 重則